

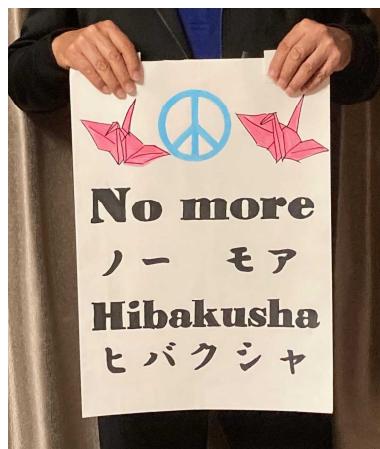
日米同時平和巡礼　長崎班二十二名

令和七年六月一日、同時巡礼の日、長崎は晴天に恵まれ、現地のカトリック教会の高見大司教様呼びかけによるたくさんの教会信者の方々と、東京からイナモリプロジェクトの劇団員七名、住職二名、寺族二名の総勢二十二名での巡礼となりました。

まず平和の像のある長崎平和公園を出発し、浦上天主堂に向かいました。高見大司教様の特別な計らいで礼拝堂前まで進み、貴重なお話を伺いました。次に一本足鳥居で有名な山王神社に行き、八十年前から半分に欠けている鳥居と被爆クスノ木を目にしたときの衝撃は今も忘れられません。さらに進んで爆心地を訪れると、平和教育に来ているたくさんの修学旅行生に出会いました。彼らも我々の巡礼の姿を暖かい目で見て、気軽に挨拶してくれました。平和を祈る形にはいろいろあることを知つてもらえる機会が持てて、今回の巡礼は大成功だつたように思います。

長崎巡礼に必要な諸手続きについて永平寺同安居の雲山暁春さんにご足労頂きありがとうございました。いろいろな方々の協力があり、平和への強い思いが結実できたのだと思います。

今、我々一人一人が平和を守るために考え方行動することが、地球を守る、人類を守ることに必ず繋がつていくと思います。みなさん一緒に歩きましょう！



浦上天主堂「希望のカテリの鐘」



